

日本歯科麻酔学会雑誌投稿規定（第48巻1号より適用）

1. 本誌に発表する論文は、本会会員が著者で、他の雑誌に未発表のものに限る。
2. 本誌に発表する論文の内容は、歯科麻酔に直接的に関係のあるものか、または、歯科麻酔を包含しているものとする。
3. 倫理規定について
 - (i) ヒトを対象とする内容については、ヘルシンキ宣言を遵守し、倫理的に行われていること。
 - (ii) 被験者あるいは患者からインフォームド・コンセント（個人情報印刷・公表することに関する同意書）を得ていること。論文中に記載される施設名は、患者の特定など、個人情報保護上問題がある場合は明示を避ける。また、症例報告では原則として論文中に受診日は記載しない。
 - (iii) 所属施設の倫理委員会の承認を得ていること。会員の所属する施設に倫理審査委員会が設置されていない場合、本学会に研究の審査を依頼することも可能である。学会ホームページに「倫理審査に関する規則とその様式」を掲載しているので参照すること。また、申請に関連する各種様式は学会ホームページからダウンロードできる。
 - (iv) 動物を対象とする内容については、所属施設の動物実験委員会の承認を得ていること。または、「動物の保護及び管理に関する法律」「動物の愛護及び管理に関する法律」「動物の愛護及び管理に関する法律施行規則」「犬及びねこの飼養及び保管に関する基準」「展示動物等の飼養及び保管に関する基準」「実験動物の飼養及び保管等に関する基準」「動物の処分方法に関する指針」などに則していること。
4. 利益相反の申告について
 - (i) 対象は本誌の全ての投稿論文とする。
 - (ii) 投稿論文にかかわる全ての著者は利益相反の有無を申告すること。
 - (iii) 筆頭著者は、全ての著者の利益相反を1枚の利益相反自己申告書（様式1）にまとめて記載して、投稿時に必ず添付すること。
 - (iv) 利益相反の有無を本文の最後に記載すること。
 - (v) 筆頭著者は共著者の申告について、責任を負うこと。
 - (vi) 利益相反自己申告書（様式1）は学会ホームページよりダウンロードし、利益相反に関する詳細は「利益相反に関する規則」等を参照すること。
5. 本誌に掲載する論文は総説、原著、臨床、短報、解説・記事とする。
 - (i) 「総説」は雑誌編集委員会の依頼によるもので、原則として8,000字、図表7個以内とし、掲載料は無料、別刷30部を贈呈する。
 - (ii) 「原著」は刷上り2頁（1頁2,350字）まで無料とし、超過頁、図表（写真を含む）、別刷は実費とする。
 - (iii) 「臨床」は刷上り1頁まで無料とし、超過頁、図表、別刷は実費とする。
 - (iv) 「短報」は刷上り3頁以内とし、実費全額著者負担とする。原稿の分量は本文から文献の最後までで4,200字以内に収めること。また、図表を用いる場合は雑誌掲載時の片段標準の大きさ（横8cm×縦5cm）1点につき本文400字程度を減じること。
 - (v) 「解説・記事」は、依頼原稿以外は実費全額著者負担とする。
6. 原稿の書き方
 - (i) 原稿は常用漢字を用い、口語体、横書き、新かなづかいで、用語に関するお知らせを参照のうえ、日本歯科麻酔学会ホームページより論文テンプレートをダウンロードして作成すること。
 - (ii) 原稿第1枚目（表紙）は論文種別、和文表題（および副題）、和文の所属機関名、著者名、表・図枚数、英文抄録語数、別刷希望部数、査読結果・校正等連絡先とする。第2枚目から要約、本文の順に書くこと。
 - (iii) 柱（ランニング・タイトル）として、40字以内の論文題名を入れるが、40字を超過する題名は短縮して表題とは別に記載すること。
 - (iv) 原著および臨床論文には必ず報知的な和文要約（400～600字）をつける。
 - (v) 論文には英文抄録（250語程度）ならびに英文のKey-words（5 words程度）をつける。たとえば、Key-words: BLOOD, ANEMIA, ANESTHETICS, RELAXANT, HALOTHANE のように書く。表や図は英文で作成するが、内容（アンケート等）によっては和文も可とする。英文抄録ページは、表題（および副題）、所属機関名、著者名、抄録文、Key-words、Address correspondence to の順序で書く。
 - (vi) 所属機関名は和文、英文ともに必ず公式の名称を用いる。
 - (vii) 別刷の希望部数は論文の表紙に明記すること。
 - (viii) 表、図はすべて1ページに1点ずつとする。本文中にはTable 1, Fig. 1などと朱書する。
 - (ix) メートル法、度量衡の単位は次の文字を用い文字の後に点などを付けない。
m, cm, mm, μ , cm^2 , ml, l, kg, g, mg
 - (x) 文献は引用順に番号をつけ（たとえば佐藤¹⁰のごとく）、本文末尾に引用番号順にならべる。
 - A) 雑誌の場合
すべての著者名：表題、誌名、出版年（西暦）、巻（号）、引用した部分の始めのページ-終わりのページ。なお投稿中の論文は和文の場合は、誌名の後に「掲載予定」、欧文の場合は、“to be published in” の後に誌名を書く。また引用部分のページは必ず通巻ページを書くこと。

〔例〕 1) 川島正人, 鈴木長明, 真秀重成, 海野雅浩: 難治性口腔・顎・顔面痛の原因に対する患者の先入観について, 日歯麻誌, 2000, 28(2), 213-217.

2) Irifune M, Sato T, Nishikawa T, Masuyama T, Nomoto M, Fukuda T, Kawahara M: Hyperlocomotion during recovery from isoflurane anesthesia is associated with increased dopamine turnover in the nucleus accumbens and striatum in mice, *Anesthesiology*, 1997, 86(2), 464-475.

B) 単行本の場合

すべての著者名(編者名, 翻訳者名): 表題(書名, 巻数), 版表示, 出版社名, 出版地, 出版年(西暦), 引用した部分の始めのページ-終わりのページ.

〔例〕 1) 杉岡伸悟, 上田 裕(古屋英毅, 松浦英夫, 雨宮義弘, 上田 裕, 金子 譲, 海野雅浩編): 全身麻酔 8 気管内麻酔 3) 気管内挿管 (3) 気管切開(歯科麻酔学), 第5版, 医歯薬出版, 東京, 1997, 311-312.

2) Stone DJ, Gal TJ (Miller RD ed): *Airway management (Anesthesia)*, 5th ed, Churchill Livingstone, Phila, 1999, 1414-1451.

C) 抄録集の場合

すべての著者名: 表題, 会議開催地, 会議主催機関名または会議名, 出版年, リポート番号またはリポート名, 引用した部分の始めのページ-終わりのページ.

〔例〕 1) 佐藤暢一, 小沢治子, 野口純一: プロポフォルを併用した麻酔後に2日におよぶ覚醒遅延を来した1症例, 松山, 第18回日本臨床麻酔学会総会,

1998, 抄録集, S317.

D) 研究報告の場合

すべての著者名: 報告書名, 発行所, 発行地, 発行年, 引用した部分の始めのページ-終わりのページ.

〔例〕 1) 河口 豊: 阪神・淡路大震災による病院被災に関する調査研究報告書(平成7年度健康政策調査研究事業), 国立医療・病院管理研究所, 東京, 1996, 77-79.

E) URL の場合

著者名(または発行元): ウェブページの題名, ウェブサイトの名称, 更新日付(不明の場合のみ省略可), 入手先 URL(参照日付)

〔例〕 1) 日本歯科麻酔学会編集, 日本歯科医学会監修: 歯科診療における静脈内鎮静法ガイドライン, 日本歯科麻酔学会, 2011-02-23, <http://kokuhoken.net/jdsa/publication/guideline.html> (参照 2016-05-01)

なお, 雑誌略名を使用する場合は, 和文誌は原則として当該雑誌で規定されているもの, 英文誌は NLM スタイルに準拠した略名を使用すること.

7. 投稿論文は誓約書・利益相反自己申告書(様式1)・論文投稿チェックリストを添えて日本歯科麻酔学会ホームページに設置してある雑誌投稿フォームから投稿すること.

8. 投稿原稿は各号の締切り日必着とする. なお, 投稿後の著者都合による原稿差し替えは認めない. 投稿原稿の採否は雑誌編集委員会で決定する.

9. 本誌に掲載された論文の著作権は本学会に帰属する.

原稿の作成および送付について

1) 原稿は日本歯科麻酔学会ホームページより Microsoft Office Word (以下 Word) 形式の論文テンプレートをダウンロードして作成すること(日本歯科麻酔学会ホームページ→歯科医療関係者の皆様へ→出版物→「ご投稿をされる方に」を参照).

2) 論文テンプレートの表紙に必要事項を記入し, 次のページより, (原著・臨床のみ要約), 本文, 文献, 英文抄録等, (必要に応じて付表・付図)の順に1ページ40字×25行で記載する.

3) Table および Fig. は英文抄録の次のページから1ページに1点ずつ挿入する. 念のため表または画像の元データファイル(Excel, PowerPoint, JPG など)を論文テンプレートのファイルとは分けて添付すること(なお, JPG データを用いる際の画像解像度は, 写真は300 dpi 以上, 線画は1,200 dpi 以上とする).

4) 誓約書, 利益相反自己申告書(様式1)に必要事項を記載・捺印のうえ白黒スキャンし, 画像ファイルを添付する. なお, 誓約書, 利益相反自己申告書(様式1)の原紙は著者校正返却時に必ず同封すること.

5) 論文投稿チェックリストを確認のうえチェックを付して添付する.

6) ファイル名は, 和文で「著者名」_「論文; Table; Fig; その他」とする.

例) 日麻太郎_論文; 日麻太郎_Table; 日麻太郎_Fig; 日麻太郎_誓約書; 日麻太郎_利益相反自己申告書; 日麻太郎_論文投稿チェックリスト

7) ①論文テンプレート(Word), ②Table, ③Fig, ④誓約書(pdf), ⑤利益相反自己申告書(様式1, pdf), ⑥論文投稿チェックリスト(Word または pdf)を1つの圧縮ファイル(拡張子.zip)にし, 日本歯科麻酔学会ホームページに設置してある雑誌投稿フォームから投稿する.